各 位

会 社 名 アスクル 株 式 会 社 代表者名 代表取締役社長 岩田彰一郎 (コード番号:2678 東証一部)

問合せ先

役職·氏名 取締役 社長室執行役員 織茂 芳行

TEL 03-3522-8608

2006年5月期中間期 決算説明会の説明資料のお知らせ

2006年5月期中間期 決算説明会にて配布いたしました説明資料をお知らせいたします。

なお、本説明会資料は、公認会計士または監査法人による関与はありません。 また、現時点での入手データを基に作成しております。

以上

*ASKUL

2006年5月期中間期連結業績概要

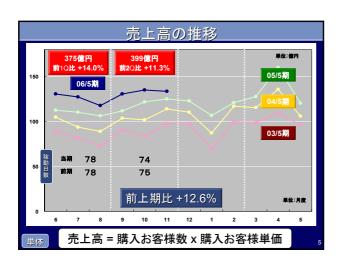
2005年12月16日 アスクル株式会社

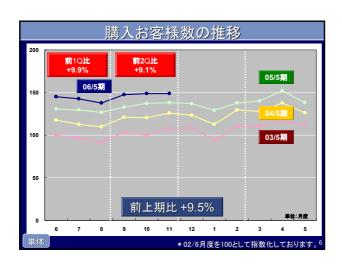
AGENDA

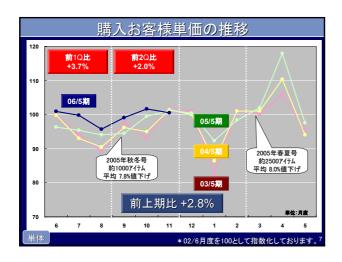
- I 2006年5月期中間期 連結業績
- Ⅱ 成長戦略とコア・コンピタンス
- Ⅲ 2006年5月期連結業績の見通し

2006年5月期の位置付け 2002~ ~2001年5月期 2005年5月期~ 2004年5月期 (高成長期) 2006年 5月期 (基盤の磨き込み) 持続的成長 インフラ構築・整備 ビジネスモデル による高成長 ・収益性の向上 ・バランスのとれた 成長と収益性への挑戦 •高い売上成長率 新規事業への ・中期における 成長戦略の実現 取り組み

I 2006年5月期中間期 連結業績								
	2005/5期中間期		2006/5期中間期					
	金 額	売上比	金額	売上比	前期比			
	百万円	%	百万円	%	%			
売上高	68,774	100.0	77,730	100.0	+13.0			
売上総利益	17,144	24.9	19,419	25.0	+13.3			
販管費	13,647	19.8	15,266	19.7	+11.9			
営業利益	3,497	5.1	4,152	5.3	+18.7			
経常利益	3,512	5.1	4,166	5.3	+18.6			
当期純利益	1,974	2.9	1,938	2.5	▲1.8			
(注)当中間期は、連結子会社ビジネスマート株式会社を含んでおります。								







2006年5月期中間期連結業績について (%:前年同期比) 1. 売上高 予想: 75,412 M¥ 実績: 77,730 M¥ (+13.0%) ① オフィス生活用品を中心とした新商品が好調 ② OA·PC用品等の基本商品が堅調な推移 ③ メディカル&ケア事業の展開 ④ 課題として、オフィス家具商品の変革の推進 2. 営業利益 予想:3,791 M¥ 実績: 4,152 M¥ (+18.7%) ・増収効果と継続的な販管費の削減 3. 当期純利益 予想:1,710 M¥ 実績:1,938 M¥ (▲1.8%) ・特別損失および過年度法人税等の影響

I 2006年5月期中間期 連結業績 Ⅱ 成長戦略とコア・コンピタンス Ⅲ 2006年5月期連結業績の見通し

Ⅱ 成長戦略の要となるコア・コンピタンス

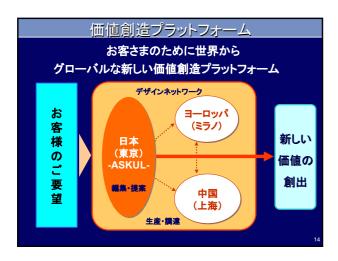
アスクル 3つのコア・コンピタンス

- 1. コンテンツ(商品、サービス)の創造力
- 2. ソリューションの提供
- 3. *e*-プラットフォームの拡充



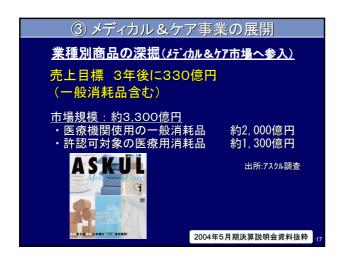


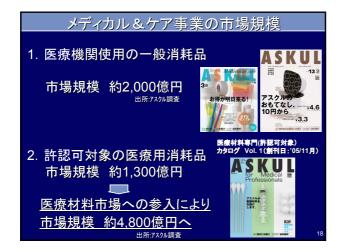


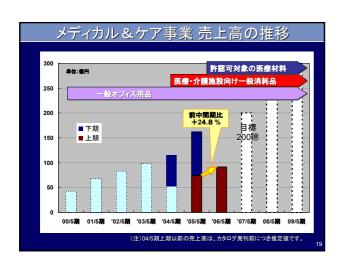






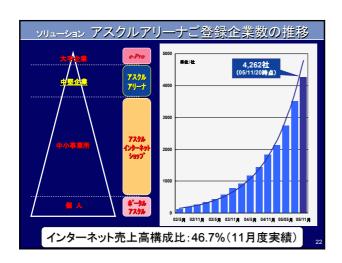






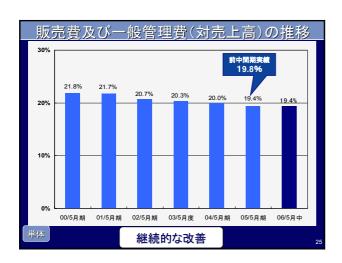


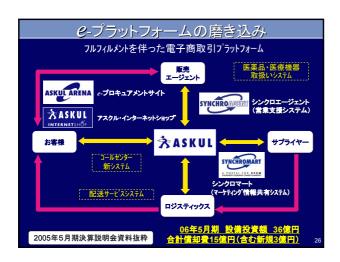
II 成長戦略の要となるコア・コンピタンス アスクル 3つのコア・コンピタンス 1. コンテンツ(商品、サービス)の創造力 2. ソリューションの提供 3. *e*-プラットフォームの拡充





Ⅱ 成長戦略の要となるコア・コンピタンス	
アスクル 3つのコア・コンピタンス	
1. コンテンツ(商品、サービス)の創造力	
2. ソリューションの提供	
3. <i>୧-</i> プラットフォームの拡充	
継続的な販管費の低減	
	24







名古屋センターの強化点のポイント	
自社運営による上流から下流に 至る全体プロセスの可視化 1. ITカートでのセル型業務(個人完結 型業務)による品質と生産性の追求 2. PMS(生産性管理システム)による 物量に応じた柔軟な勤務シフト実現	
28	
全体プロセスの可視化	
①操業状態の見える化	
②管理指標の見える化	

全体プロセスの可視化

③個人別作業の見える化

- ①操業状態の見える化
 - ・作業進捗状況のリアルタイム表示
 - ·計画/実績のギャップ発生時の対応 高速化

31

全体プロセスの可視化

②管理指標の見える化

- ・生産性や商品ヒット率、人員配置、 充足率等の分析用データ表示
- ・グラフ化等、簡単に分析に使えるための 工夫

成長戦略

コア・コンピタンスを源泉とした新しい価値の創造

海外への展開

サービス
の展開

の展開

ファ・カンピタンスを源泉とした新しい価値の創造

海外への展開

の展開

ファ・カンピタンスを源泉とした新しい価値の創造

海外への展開

サービス
の展開

サービス
の展開

大・中堅

中小事業所

従業員 個人

AGENDA

- I 2006年5月期中間期 連結業績
- Ⅱ 成長戦略とコア・コンピタンス
- Ⅲ 2006年5月期連結業績の見通し

33

2006年5月期 連結業績の見通し								
	2005年5月	期実績	2006年5月期見通し					
	金額	売上比	金額	売上比	前期比			
売上高	百万円 144,600	100.0	百万円 160,536	100.0	+11.0			
売上総利益	35,728	24.7	40,703	25.4	+13.9			
販管費	28,022	19.4	32,030	20.0	+14.3			
営業利益	7,705	5.3	8,672	5.4	+12.6			
経常利益	7,735	5.3	8,664	5.4	+12.0			
当期純利益	4,305	3.0	4,397	2.7	+2.1			
業績の見通しに変更はございません。								

2006年5月期下期の業績見通し

- 1. 売上関係
- ・お客様要望の多様化に対応する商品展開 (ミラノ、上海事務所を基盤に商品開発・調達の推進)
- ・オフィス家具商品の変革の推進
- 2. 経費関係(追加先行投資)
- •戦略的人材登用(商品、物流、新規事業)

2.4億円

・家具サービス事業の強化 2.4億円

2

企業理念

お客様のために 進化するアスクル